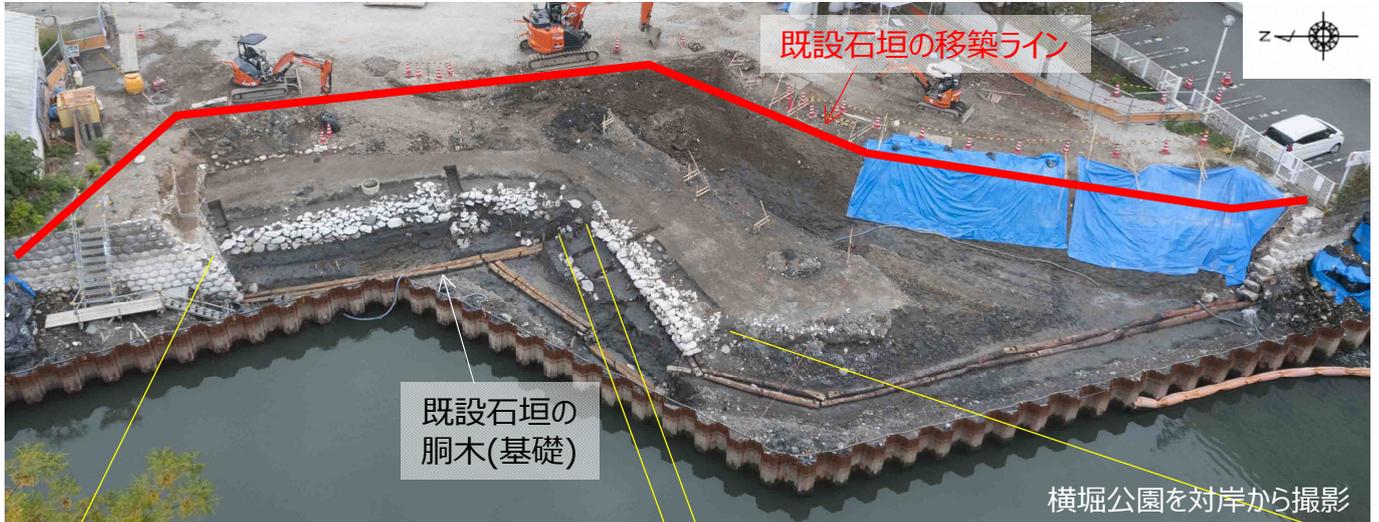


## 2 横堀公園において新たに発見した石垣とその対応

高知県都市計画課

### (1) 新たに発見した石垣の概要

- 今回発見した石垣は、江戸時代後期に築造された可能性が高く、現存する新堀川の護岸石垣の中で最も古い。
- 今回、雁木(階段)状の石垣も発見しており、船着き場として利用されていたのではないかと考えられるため、その時代の新堀川や公園敷地の使われ方をあらかず重要な石垣であると言える。



今回発見した石垣(北側)



今回発見した石垣(南側)：雁木(階段)状



### (2) 新たな石垣の発見を受けた対応方針

#### 干潟形状を一部変更し、新たな石垣を埋設保存

- 横堀公園では、道路拡幅により影響を受ける新堀川にすむ希少種の生息環境を確保するため、既設石垣を後方にセットバックさせ、その前面に干潟と水面を創出する計画。
- 石垣の発見を受け、工事アドバイザーと協議を重ねた結果、県は、干潟形状を一部変更し、発見した石垣を埋設保存することに決定。
- これにより、コアマモの生育に適した範囲が一部減少するが、希少種の生息環境を創出する計画に大きな影響はないと考えている。

